

平成19年1月5日

2007年度代表選手選考の見直し及び強化方法の変更について

《カヌーフラットウォーターレーシング》

強化部長 甲斐 信幸

新年を迎え北京オリンピックまで残すところ一年余りとなり、選手諸君はじめ関係される方々の目標となる代表選手選考の見直し及び強化方法の変更をご連絡申し上げますので、選手及び関係各位に遺漏なきようご周知いただきますように御願い申し上げます。

見直し及び変更に至る経過

1. ハンガリーセゲドにて実施、第35回世界フラットウォーター選手権大会の競技成績
WK-2 北本・竹屋 1000mA 決勝4位、500mB 決勝7位、200mB 決勝4位
C-2 安保・丸山 1000mB 決勝9位、500mB 決勝6位、200mA 決勝9位
他、B決勝には残る種目はあるものの、成績としては今後更なる強化指導が必要なレベルであると判断いたしました。

2. カタールドーハにて実施、第15回アジア競技大会の競技成績
WK-2 北本・竹屋 500m 2位
C-2 安保・丸山 丸山選手の欠場により藤井選手1000m 3位
他、アジア大陸競技レベルに於いても、今後集中した強化指導が必要な競技レベルであると判断せざるを得ません。

以上2大会に於いて、代表選手諸君の現時点での競技レベルを考えた場合、アジア大陸最終予選会小松大会を目標とし、残された期間で最大の成果を求めていく施策を示させていただきます。

その中でもWK-2 北本・竹屋及びC-2 安保・丸山組が、まだまだの感はあるが戦える競技レベルと考えられます。

2007年1月からの代表選手選考及び強化方法の変更

- * この二つのチームボートを専任コーチ、イスパス・オクタビアンに専属で国内外強化指導を継続的に実施し、ドイツのクオリフィケーションに参戦する。
- * それ以外の種目については、2006年代表選手及び強化指定候補選手の枠の中で、自己負担ではあるが、年度末まで国内において島村健司をコーチとして、拠点戸田、JISSでの競技力向上強化合宿を行う。
- * 2007年5月小松第4次選考会を経て代表選手の組み換えを実施する。

- * 2007年代表選手選考人数（代表枠でも試合出場のない場合あり）
カヤック男子……成績上位者 8名
カナディアン……成績上位者 4名
カヤック女子……成績上位者 6名
- * 上記選考人数にはWK-2北本・竹屋及びC-2安保・丸山は入らないものとする。
- * 代表選手の中から選考しアジア選手権大会に出場する。
- * 代表選手の中から選考しドイツのクオリフィケーションに参戦する。
- * 代表選手の中から選考し、北京で実施されるプレオリンピックに出場する。
- * 2008年5月アジア大陸クオリフィケーション小松大会の出場選手最終選考会は、
2008年3月香川県府中湖の海外派遣選考会を最終選考とする。
- * 強化合宿等にはジュニア優秀選手を参加させ、中長期的な計画を実施する。

以上、2008年アジア大陸予選会小松大会までの方策を示しますので、関係各位に於かれましては更なる競技レベルの向上を目指し、現状の理解とこれからのご協力を御願い申し上げます。

以上

強化組織体制

(2008年北京オリンピックアジア最終選考会まで)

